

施策 241 競技スポーツの推進

【主担当部局：地域連携部スポーツ推進局】

県民の皆さんとめざす姿

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会の本県開催や東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、県民の皆さんのスポーツに対する関心が高まり、本県選手の活躍を通して、県民の皆さんが夢、感動、勇気を得るとともに、郷土を愛する意識や一体感が醸成されています。

平成31年度末での到達目標

将来を担うジュニア・少年選手の育成やトップアスリートの強化、指導者の確保・養成等に取り組むことにより、本県選手の育成・強化が進んでいます。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
国民体育大会 の男女総合成績		10位台		10位台		10位以内
	27位					
目標項目 の説明	国民体育大会における正式競技の参加点（ブロック大会を含む）と冬季大会および本大会の競技得点の合計による都道府県ごとの男女総合順位					
29年度目標値 の考え方	平成31年度に10位以内を達成するためには計画的に競技水準を向上させる必要があるため、三重県競技力向上対策基本方針をふまえ、10位台と設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
24101 競技力の 向上（地域連携 部スポーツ推進 局）	全国大会の入 賞数		122		127		142
		117					
24102 国民体育 大会の開催準備 の推進（地域連 携部スポーツ推 進局）	国体開催に向 けた広報ボラ ンティアの延 べ活動人数		30人		190人		970人
		—					
24103 スポーツ 施設の充実（地 域連携部スポ ーツ推進局）	県営スポーツ 施設年間利用 者数		710,200人		725,800人		978,000人
		834,602人					

現状と課題

- ①全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手（小・中学生）を「チームみえジュニア」として指定したことで、競技団体、指導者、保護者が一体となってジュニア選手を育成することの重要性の認識が、より一層深まりました。また、国内トップクラスにあるジュニア選手9名（中学生3名、高校生6名）を「チームみえスーパージュニア」として指定し、県民の皆さんや企業等からの寄附金（「三重から発進！未来のトップアスリート応援募金」）を活用して遠征・合宿等の強化活動を支援したことで、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会、国民体育大会での優勝につながりました。今後も、本県競技スポーツを牽引するようなジュニア・少年選手を引き続き支援する必要があります。
- ②中学校運動部（13校13部）および高等学校運動部（30校71部）を強化指定するとともに全国大会で活躍が期待できる中学生が所属するジュニアクラブ（9クラブ）を強化指定し、遠征・合宿等強化活動を支援したことで、全国中学校体育大会の入賞件数が（H27：9→H28：13）、全国高等学校総合体育大会の入賞件数が（H27：46→H28：47）に、それぞれ増加しました。今後は、三重とこわか国体および全国高等学校総合体育大会のターゲットエイジである中学生・高校生選手を中心とした育成・強化を図るため、学校運動部やジュニアクラブの強化指定を引き続き推進していく必要があります。
- ③成年選手が本県に定着し、競技活動を継続できるよう就職支援の取組を進めた結果、93社から求人登録を得ることができました。一方、求職登録数は伸び悩んでいることから、競技団体との連携のもと、県内企業に就職し、競技活動の継続を希望するアスリートを確認し、企業とのマッチングを図っていく必要があります。
- ④本県出身大学生トップアスリート（5名）、大学運動部、企業・クラブチーム（16チーム）を強化指定し、その強化活動を支援した結果、リオデジャネイロオリンピックに出場する選手や全日本大学選抜大会で優勝する選手を輩出するなどの成果をあげています。今後も引き続き、本県成年選手強化の中核を担う選手や大学運動部、企業・クラブチームの強化指定を推進する必要があります。
- ⑤全国で初めての取組となる、女子ラグビー選手に特化した女性アスリートタレント発掘・育成に着手し、8月に一次オーディションを開催しました。今後は、二次オーディション（11月）を開催するとともに、合格者に対して3年間にわたって実施するプログラムの策定を進める必要があります。
- ⑥優れた競技実績や指導実績をもつ指導者を通年で指導にあたる「年間コーチ」として2競技団体に、練習会等に派遣する「ワンポイントコーチ」として7競技団体に派遣するとともに、国内のトップアスリート5名を「スポーツ指導員」として三重県体育協会に配置しました。これらの取組を通じて、当該競技の競技力向上に成果をあげるとともに、指導者の資質向上を図ることができました。今後も県内外の優れた指導力を有する指導者等を活用する必要があります。
- ⑦三重とこわか国体の開催に向けて、会場地市町の選定などの準備に取り組んだ結果、平成28年7月には、公益財団法人日本体育協会から平成33年第76回国民体育大会の本県開催の内定を受けることができました。今後も引き続き、三重とこわか国体の成功に向けて、会場地市町や各競技団体等と連携し、開催準備を進めていく必要があります。
- ⑧三重とこわか国体の開催を周知するため、県広報紙やポスターなどを活用した広報を行うとともに、マスコットキャラクターの愛称を「とこまる」と決定しました。9月からは、「とこまる」と一緒に活動していただく広報ボランティアを募集しており、今後、ボランティアとともにより一層広報を進めていく必要があります。

- ⑨所管する県営スポーツ施設について、指定管理者と連携し、効果的・効率的な管理運営に努め、10月末現在の利用者数は539,869人となりました。また、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」水泳場タッチ板更新や雨漏り補修工事の設計を行うなど施設・設備の安全性、利便性の確保に努めました。引き続き、年度当初に予定した設備の維持修繕や備品導入の早期実施に努め、施設機能の維持向上を図っていく必要があります。
- ⑩三重とこわか国体等の開催に向け、「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場の大規模改修工事について、メインスタンド改築工事、バックスタンドやサイドスタンドの改修工事に着手するとともに、ライフル射撃場については、射場の改修等の設計に着手しました。引き続き、着実に整備を進めていく必要があります。

平成29年度の取組方向

- ①平成33年三重とこわか国体へ向けて、各競技団体の戦力や育成・強化の進捗等、状況を分析したうえで、それぞれによって異なる課題解決を図るため、競技力向上対策委員会等における意見をふまえながら、より具体的で、効果的な強化対策に取り組みます。
- ②ジュニア・少年選手の育成・強化を図るため、全国大会等で活躍が期待できるジュニア・少年選手を「チームみえジュニア」「チームみえスーパージュニア」として指定するとともに、競技団体、指導者、保護者が一体となって取り組むための研修会を開催します。また、「チームみえスーパージュニア」の活動を支援するため、「三重から発進！未来のトップアスリート応援募金」のPRを行い、協力を広く呼び掛けていきます。
- ③三重とこわか国体および平成30年全国高等学校総合体育大会に出場する中学生・高校生選手を中心とした育成・強化を図るため、中学校・高等学校運動部やジュニアクラブの強化指定に、引き続き取り組みます。また、中高の連携、中学校・ジュニアクラブの棲み分けを図るなど、より効果的に育成・強化が推進できるよう、取組を進めます。
- ④東京オリンピック・パラリンピック競技大会や三重とこわか国体において本県選手が活躍できるよう、本県出身の成年選手や県内の大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、成年種別の育成・強化を進めます。また、トップアスリートが県内に定着できるよう、競技団体と緊密に連携しながら、アスリートの就職を支援する取組をさらに推進します。
- ⑤女子種別の充実を図るため、女子ラグビーに特化したタレント発掘・育成の取組をさらに進めます。また、女性アスリートが長く競技を継続できるよう、研修会を開催するなど、指導者の資質向上や選手、指導者、保護者等の意識醸成を図ります。
- ⑥指導者の養成・確保を進めるため、強化指定運動部、クラブおよびチームの指導者に対する研修会の開催とともに、競技団体に特別コーチやスポーツ指導員を派遣します。
- ⑦三重とこわか国体については、開催3年前となる平成30年に、公益財団法人日本体育協会から開催決定が得られるよう、引き続き、会場地市町や各競技団体等と連携し、着実に準備を進めます。
- ⑧三重とこわか国体の開催を周知するため、広報ボランティアとともに積極的な広報活動を行い、開催機運の醸成を図ります。
- ⑨県営スポーツ施設について、快適な利用環境を提供できるよう指定管理者と連携し、より一層のサービスの向上に努めます。あわせて、施設・設備の安全性、利便性を確保するための改修・修繕については、緊急性・必要性の観点から計画的に実施します。
- ⑩「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場やライフル射撃場について、引き続き、関係機関・団体との調整を行いながら、計画的に整備を進めます。

主な事業

①競技力向上対策事業【基本事業名：24101 競技力の向上】

予算額：(28) 263,603千円 → (29) 261,532千円

事業概要：平成29年の国民体育大会や平成33年の三重とこわか国体に向けて、中学・高校の運動部やジュニアクラブ、大学運動部、企業・クラブチームの強化指定をはじめ、全国トップレベルにある成年選手を強化指定し、その強化活動を支援します。また、本県にトップアスリートが定着できるよう引き続き、就職支援に取り組みます。加えて、スポーツ指導員の配置や特別コーチの派遣など指導者の養成・確保や資質向上を図るとともに、国内外の大会で活躍できる本県生まれ、本県育ちの女性アスリートを発掘・育成するための取組をさらに進めます。

②第76回国民体育大会開催準備事業【基本事業名：24102 国民体育大会の開催準備の推進】

予算額：(28) 76,721千円 → (29) 74,881千円

事業概要：三重とこわか国体の開催機運を醸成するため、広報ボランティアとともにマスコットキャラクター「とこまる」を活用した広報を展開するほか、イメージソングやダンスを制作します。また、会場地市町、県競技団体等と連携しながら、役員等の養成に努めるとともに、デモンストレーションスポーツの会場地市町を選定します。さらに、競技会場の整備に向けた支援、開・閉会式に向けた準備、輸送・交通や宿泊にかかる取組などを進めます。

③三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(28) 428,015千円 → (29) 430,010千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、水泳場や庭球場など施設・設備の老朽化対策に係る改修等を行います。

④三重交通G スポーツの杜 伊勢事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(28) 3,455,367千円 → (29) 5,438,313千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、県内唯一となる第1種公認陸上競技場の施設基準に対応するために陸上競技場の整備を行います。

⑤県営ライフル射撃場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(28) 65,395千円 → (29) 249,163千円

事業概要：指定管理者制度を活用して、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、国体の開催に向け、射場等の整備を行います。